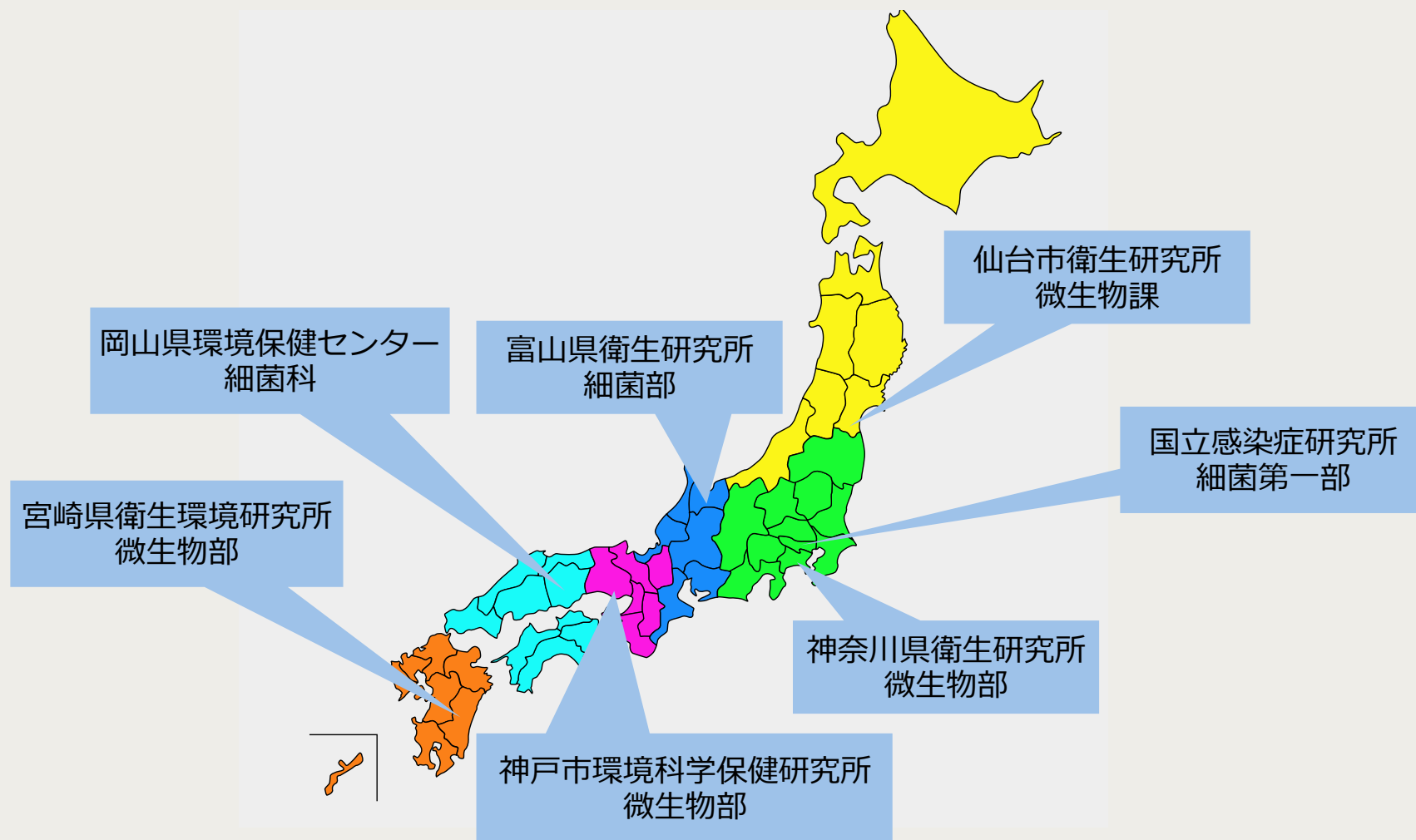


レジオネラ・レファレンスセンター報告



衛生微生物技術協議会第34回研究会
平成25年7月11日、名古屋

レジオネラ・レファレンスセンターの 現在の活動

- 1) 病原体サーベイランス 臨床分離株の収集と遺伝子型別 SBT
- 2) 市販されていないレジオネラ免疫血清の作製と配布、
希少感染症予算→厚労科研費補助金（指定研究）の活用
レジオネラ免疫血清ロングビーチ2群、2253（1群に統合？）
レジオネラ免疫血清フィーレイ1群、2群の配布
レジオネラ免疫血清ハッケリ1群+2群の配布
レジオネラ免疫血清アニサ配布
レジオネラ免疫血清ロンディニエンシス1群、2群配布

今年から

- 3) 培養法の標準化への取り組み（民間検査機関向け、研修会試行）
- 4) 環境水からのレジオネラの分離：外部精度管理 特注バイオボールの利用
30地衛研参加可能（無料） 食品薬品安全センターを参考にして

レジオネラレファレンスセンターにおける
レジオネラ臨床分離株の収集状況
およびレジオネラの遺伝子型別の結果

2007年8月から

レジオネラ臨床分離株を収集

第34回衛生微生物技術協議会
レファレンスセンター関連会議

レジオネラ

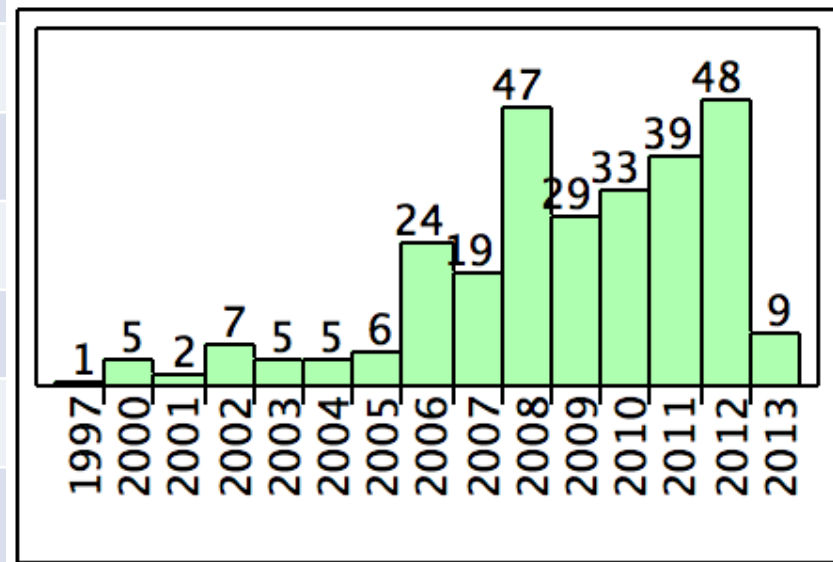
平成25年7月11日

名古屋市中小企業振興会館

収集臨床分離株の内訳

2013年6月末日現在

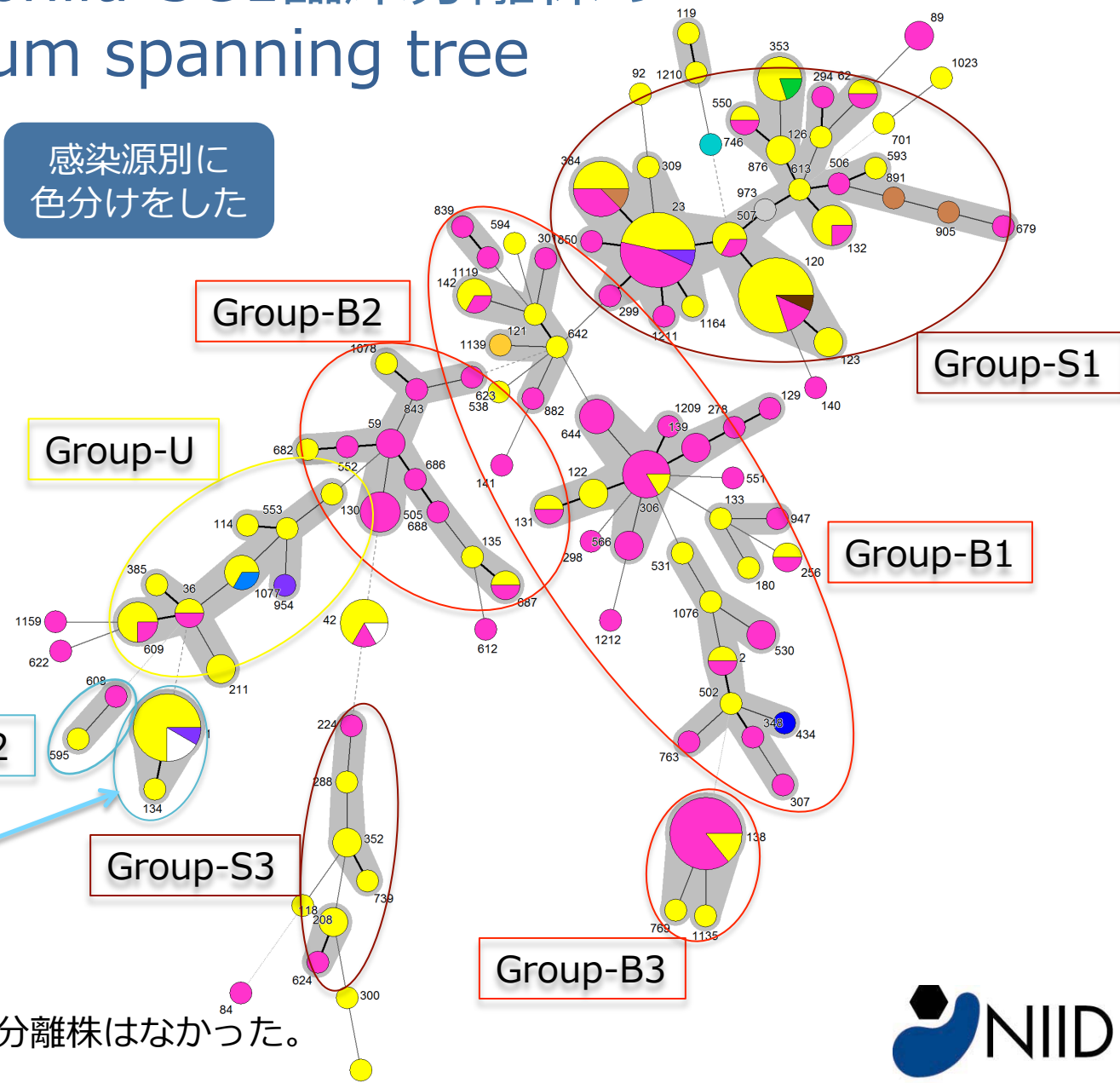
<i>L. pneumophila</i> 273株 (97.5%)	<i>L. feeleii</i> 1株 (0.4%)
SG1 232株 (85.3%)	<i>L. londiniensis</i> 1株 (0.4%)
SG2 6株 (2.2%)	<i>L. longbeachae</i> 4株 (1.4%)
SG3 11株 (4.0%)	<i>L. rubrilucens</i> 1株 (0.4%)
SG4 2株 (0.7%)	
SG5 7株 (2.6%)	
SG6 7株 (2.6%)	
SG9 3株 (1.1%)	
SG10 2株 (0.7%)	
SG12 1株 (0.4%)	
SG15 1株 (0.4%)	
Untypable 1株 (0.4%)	
計	280株 (100%)



L. pneumophila SG1臨床分離株の minimum spanning tree

株数	感染源
109	不明
92	浴槽水 (推定/確定)
3	塵埃 (推定)
3	シャワー (推定/確定)
3	院内 (推定)
1	津波 (溺水)
1	プール (推定)
1	土壌 (推定)
1	砂 (推定)
1	エアコン (推定)
1	加湿器 (確定)
1	冷却塔 (推定)

感染源別に
色分けをした



Group-S2 に属する臨床分離株はなかった。

* 昨年度までの収集分にレファレンスセンター発足以前に収集した34株を追加した217株を解析

レファレンスセンター関連会議での話題

1. シャワー水、噴水、給湯水などからの *L. pneumophila* 血清群1分離株の遺伝子型の調査が不十分、収集の必要性
2. 喀痰からの菌の分離率が低い（入手までの検体の保存状態がよくない？）。
3. 一方、ある県では患者の25%から菌株分離、高い罹患率（全国平均の4倍）
4. 鉄道工事等では、粉塵発生を抑制するため散水されている。この水が消毒されていないと患者が発生する恐れがある。
5. レジオネラ検査に関する問題点や要望、免疫血清の交差反応や感度
6. 社会福祉施設のレジオネラ対策は遅れている、高齢者福祉施設は保健所の管轄外、集団感染事例
7. 散発感染事例が刑事事件に発展する可能性